

乗用カート利用約款（準則）

東都栃木カントリー倶楽部

第1章 総則

第1条（本約款の目的）

この約款は、本倶楽部の電磁誘導式乗用カート（以下「カート」と称します）の利用に関する基準を定め、もって、施設利用者及び施設就業者等の安全、並びに施設の保全を図り、かつ施設利用の充実を期することを目的とします。

第2条（本基準の遵守）

カートの発進と停止の操作（リモコン及びカート本体にあるスタート・ストップボタンの操作）を行なう者（以下「操作者」と称します）及び当該カートの同伴者（以下「同伴者」と称し、操作者及び同伴者を総称して「利用者」と称します）は、カート利用に関し、この約款を遵守する義務を負います。

第3条（操作等の制限）

カートは、ゴルフ場施設以外で利用操作することができません。

第2章 注意事項

第4条（係員の指示）

利用者は、カートの操作に際し、係員が指示した事項に関しては、その指示に従ってください。

第5条（安全操作義務）

操作者は、当該カートの装置を確実に操作して、周囲の状況に応じ、他の人身に対する危害、あるいは施設に対する損傷を及ぼさないようにしてください。

第6条（走行場所）

- カートは、絶対に所定のカート用道路以外の場所で走行させないでください。
- 己むを得ない事情によりカートを所定のカート用道路以外の場所で走行させる必要がある場合には、ただちに係員に連絡してください。カートの移動は係員において行ないます。

第7条（操作上の注意）

操作者は、カートの操作に際しては、次の事項を遵守してください。

（1）操作開始の際の注意事項

- カートの操作の開始は、必ず係員の指示に従って行なってください。
- 操作の開始に際しては、必ずリモコン及びカート本体にあるスタート・ストップボタンその他の装置が正常に作動することを確認してください。
- 発進は、必ずカート前後の安全を確認したうえで行なってください。

（2）走行の際の注意事項

- カート用道路の走行に関し、走行方法等の標示（信号機、自動停止点、交差点注意等）があるときは、これに従って操作してください。
- カートの位置と前後の安全を確認しながら操作してください。
- カート用道路と管理用道路、及び進入路の交差点は十分注意してください。

（3）停止等の注意事項

- カートは、斜面その他の不安定な場所、あるいは打球が当たる可能性のある場所には停止させないでください。
- カートを停止させるときに、フロントバンパーを蹴って停止させたり、障害物センサーの前に立って停止させることは絶対にしないでください。

第8条（同伴者の注意事項）

操作者以外の利用者は、カートの利用に際し、次の事項を遵守してください。

- カートの走行用装置（電源、スタート・ストップボタン等）には一切手を触れないでください。
- カートが発進、及び停止する際、あるいはカートが起伏ある場所、上下勾配所、曲折した場所付近に転落等の危険を伴う場所を走行する際は、必ず把持部分（アームレスト、アシストグリップ等）に掴ってください。
- カートの走行中は、カートから身体、衣服、用具等がはみ出さないよう留意してください。
- カートの前後には立ったり、近づいて歩かないでください。
- 走行中のカートの前を歩いたり、直前を横切らないでください。
- カートは急停止する場合がありますので、すぐ後をついて歩かないでください。また、停車中のカートの後に立つときは、後続カートが来ますので注意してください。
- カートへの乗車は定員を守ってください。

第3章 その他

第9条（利用の中止等）

- 利用者に次の事由がある場合には、当該利用者につき操作を禁止し、カート利用を中止し、あるいは施設利用を中止していただくことがあります。
 - 操作者に操作技術がないことが判明したとき。
 - 利用者にこの約款あるいはその他の規定に反する行為があったとき。
- 前項の事由にかかる他の利用者についても、前項の禁止ないし中止措置を取らせていただくことがあります。

第10条（事故の場合の責任等）

- 操作者がカートの操作に関し、故意または過失により人身に危害を及ぼし、あるいは施設（カート、その他の施設内の物品を含む）に損傷を及ぼす事故（以下「カート事故」という）を生じた場合には、被害者に対し、これにより生じた損害を賠償していただきます。
- 操作者以外の利用者が、故意または過失により、カート事故を生じ、またはカート事故を誘発した場合には、当該カート事故の態様に応じ、操作者と連帯してあるいは単独にて、被害者に対し、これにより生じた損害を賠償していただきます。
- 操作者以外の利用者がカート事故の被害者となった場合において、当該利用者にこの約款に反する行為があった場合には、事情に従い、その損害賠償請求の全部または一部について、過失相殺により免責されることがあります。

第11条（本約款の改定）

- この約款は、必要に応じ倶楽部理事会の承認を経て改定することがあります。
- この約款の改定は、倶楽部施設内に1か月以上の期間、改定事項を掲示することによって公示します。
- この約款の改定の効力は、前項の公示を開始したときに生じます。